

# 茨南だより

察知  
3 S 誠意  
スピード感

NO. 7 2022. 11. 7



11月1日は いばらき教育の日  
11月は いばらき教育月間



県南教育事務所長  
小松崎 龍太郎

5月10日からスタートした令和4年度の所課長訪問は、10月28日をもって県南管内206校の全てを終えることができました。短時間の日程にもかかわらず、大変温かく迎えていただき、また、資料の準備、説明、教室訪問等で御協力いただきましたことにお礼申し上げます。特に教室訪問では、「教えるから学ぶへ」「管理から自己決定へ」「指導から自走への支援へ」という視点で教育活動を見直し、学習指導要領の着実な実施と、令和の日本型学校教育を推進していただいていることが伝わってきました。教職員の皆さんの日頃の御尽力に感謝申し上げます。

さて、茨城県では、教育に対する関心と理解をいっそう深める機会として、平成16年に「いばらき教育の日」を定める条例を制定し、毎年11月1日を「いばらき教育の日」、11月を「いばらき教育月間」としました。主な目的としては、「県民の教育に対する関心と理解を深め、学校・家庭及び地域社会が連携して本県教育の充実と発展を図ることにより、豊かな心と確かな学力を備えた明日の茨城を担う子どもたちを育成するとともに、生涯にわたって自ら学び、郷土を愛し、地域社会の形成に主体的に参画する人づくりを進めるため」です。教育の日を含む教育月間には、県民の皆さん一人ひとりが自主的に教育の日にふさわしい取組を行っていただくために、学校・家庭・地域社会が連携を図り、さまざまな催しを行っています。子どもたちに、「いばらき教育の日」や「いばらき教育月間」の目的を伝えていただくとともに、学校で計画している保護者・地域との連携の中で、改めて「教育」を考える機会にさせていただいたら幸いです。

## 総務課 年末調整について

今年も年末調整の時期がやってきました。例年、税務署から、年末調整後に控除対象となる「扶養親族の申告誤り」や、「扶養親族の重複申告」等の指摘を受ける事例が発生しております。

申告誤りが県の処理後に判明した場合、「職員本人による確定申告」又は「修正申告」が必要となりますので、申請書類作成の際は、誤りのないようご注意ください。

## 人事課

### 令和4年度 優秀教職員の表彰

茨城県教育委員会では、学校教育において創意あふれる特色ある指導を実践し、顕著な教育効果をあげており、他の教職員の模範となる教職員を表彰しています。このうち、特に継続的な実践で成果をあげ、他の教員の指導力向上に寄与している教職員は、ティーチャー オブ ティーチーズ(TOT)として表彰しています。

今年度、県南教育事務所管内より表彰される個人・組織をお知らせします。なお、TOTの表彰式は、11月18日(金)に県庁23階で実施される予定です。

#### 【ティーチャーズ オブ ティーチーズ(個人)】

つくば市立沼崎小学校 教諭 鈴木はる代 先生	学習指導 (義務教育9年間の英語教育の実践 等)
---------------------------	-----------------------------

#### 【優秀教職員(個人)】

取手市立戸頭小学校 教諭 神社 裕子 先生	特別支援教育 (言語障害学級における指導 等)
阿見町立竹来中学校 教諭 小野 静香 先生	特別支援教育 (特別支援教育コーディネーター 等)



「特別の教科 道徳」の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を行うため、今回は参集型で実施し、「道徳教育の全体計画・指導計画の見直しと改善」について講義と演習を行いました。後半は、各校における道徳の指導体制についての情報交換、指導主事による助言を通して、各市町村への道徳教育の推進を図りました。



市町村教育委員会より



守谷市教育委員会

「未来の教育もりやビジョン2022」学び方改革

守谷市では、令和4年4月より「未来の教育もりやビジョン2022」として学校教育改革を推進しています。1人1台端末(iPad)を学力向上に生かしていく「守谷型ラーニングスタイル」を提示し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の往還を図り、新たな時代の授業スタイルを研修しています。

【守谷型グローバル教育】における「個別最適な学び」

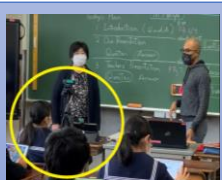
守谷市の英語教育では、「いつでも(Anytime) どこでも(Anywhere)だれとでも(With Anyone)」をコンセプトに、「世界にはばたくグローバル人材」の育成を目指しています。昨年度から、市内全中学校において「オンライン英会話」を英語の授業に取り入れています。1人1台端末を活用して、外国人講師とのマンツーマン英会話レッスンを授業で実施することにより、実践的コミュニケーション能力の育成につなげていくことを目指しています。英会話レッスンは授業の単元末の発展学習として設定し、教科書で学んだトピック「文化紹介」「将来の夢」「私のまち」「日本のマナーやルール」などについて、英語で自分の考えや意見を伝え、外国人講師と即興でのやり取りを行っています。個人のレベルに応じたやり取りを行うことで、個別最適な学びの実現を図っています。



オンライン英会話レッスンの様子

さらに、1人1台端末を活用することにより、教室以外で同じ授業やレッスンを受けることができます。全ての生徒が学びを止めることなく、学ぶ機会を保障しています。

市内小中学校全校に配置されているALTとの対面授業と、オンラインでの英会話レッスンを効果的に組み合わせることで「いつでも どこでも だれとでも」英語を使える環境を整え、子どもたちが将来、世界へはばたく機会や自信につながるような学びの実現を目指していきます。



端末(iPad)を活用した授業配信



美浦村教育委員会

相談することができる・相談を受けることができるスキルを身に付けるための授業公開から ~ONE TEAM お互いに支え合うために 美浦村編~



当日の授業風景~ロールプレイの様子から~



今年度の美浦村学校教育指導方針でも、豊かな心を育む教育の推進の一つとして「孤にならない(自分)・孤にしない(仲間)・孤をつくらない(担任)」学級経営の充実を掲げ取り組んでいる。不登校や問題行動等の未然防止のためには、どのような子を育てるのか、どのようなスキルを子どもたちに身に付けさせればいいのかを村内小中学校生徒指導部が中心となり話し合ってきた。そしてその方策の一つとして「相談することができる・相談を受けることができる」スキルの習得があり、それを身につけさせるトレーニングとして今回の授業となった。この授業では、実際の場面を想定して、相談する(相談できる)立場の授業展開と相談される(相談を受けることができる)立場の授業展開とがあり、児童はどちらの立場でも実際の場面に立ってロールプレイし、体験する。また、この授業は、教職員の働き方改革の一環として週日課表の見直しから生まれた昼の23分間のモジュールの時間を活用して帯状に行っている。実際の場面でどのように相談し、相談を受けることができるようになるのか体験することによって児童の人間関係づくりの方策にもつながると確信している。

本時の学習 指導略案(モジュールの時間対応版)

学習内容及び活動	時間
1 事前に行ったアンケート結果を発表する。 ④ 友達に困っていたら、どのように対応すればよいだろう。	3
2 場面に応じた適切な対応の仕方を考える。 ＜事例＞ ・あなたは、Aさんから「わたし、学校に行くのが辛いんだ・・・。」と相談されました。 ＜予想される児童の反応＞ ・「どうしたの？くわしく教えて。」 ・「大丈夫？大変だったね。」 ・「先生に相談してみたら？一緒に行くよ。」	5
3 2人組でロールプレイをし、思いを言葉にするよさを知る。	6
4 モデリングを行い、感想を共有する。	5
5 本時のまとめと振り返りをワークシートに記入する。	4